

## 第1回フルーツのまちづくり講座：まとめ

### 「戦略的 Facebook の使い方」～SNSをもっと安全に使おう～

■概要/日時：平成29年10月20日(金)19:00～21:00、会場：山崎邸 創-HAJIME-Café、  
参加者：16人、参加費：1000円（飲み物実費）、フルーツを食べながら。

.....



講師：西川昌克(にしかわ まさかつ)さん

何を言うかも大事だが、誰が言うかも大事だと思う。和歌山市出身、現在は紀の川市職員。和歌山大学観光学研究科卒、サウンドスケープ・音の景観を修論にした。高速バス会社、鉄道会社、旅行代理店、インターネットマーケットなどいろいろなことをしてきた。茶道も。弓道はこの度の国体で7位になった。

#### SNS を使う人はしっかり SNS を知ってほしい。

Facebook（以下FB）はSNSのひとつ。ソーシャルネットワークを構築するサービス。最初にはハーバード大学で友達が繋がるために始まった。今では世界中で7人に1人が使っている。

SNSは、「道具」。使う人が「悪い人」だと「悪く」なる。使う人が「良い人」だと、「良く」なる。使う人が「無知」だと、「怖く」なる。SNS自体は人々を結びつけるネットワーク。それに関わる人が、SNSの判断を勝手に決めているだけ。だから使う人がしっかり理解してほしい。本人次第。その人が知らないからSNSが怖いということになる。

投稿者が発信した途端、あらゆる情報を持って行かれる。ニーチェの言葉に「事実は存在しない、存在するのは解釈だ」とあるが、情報は解釈で全く変わる。

#### テレビ画面や悪口の投稿はダメ。写真は了解をとる。

「SNSでやってはいけないことは？」・・・「法律的な側面」では①個人情報の漏洩②違法アップロード③著作権無視④人権侵害。「倫理的な側面」では①人の悪口を書かない②タグ付けするときには、断りを入れる③不特定多数が写った写真をアップする際には、極力個人が特定できないものを選ぶ。

テレビの画像を写真に撮り無断でアップするのは危険。子どもの写真の顔のところを何かで消しても、周りの状況から個人が特定されるのならダメ。人を載せるときには必ず了解をとろう。また、過去に書いた悪口などは必ず伝わると思っていた方がいい。

そもそも品のいい人はそういうことはしないはず、心が痛むはずだ。日常生活で“当然”のことをSNSでも気にかけていこう。

## 質のいい「いいね」を増やそう。

「いいねを増やすには？」・・・数“だけ”なら、お金を出して広告すればいい。但し、数は増えるが質が落ちる。読者との絆を深めるには、投稿の内容が重要。

読者との親密度を高めることを意識しよう。団体やお店などのFBページの管理者画面からインサイトというところを開くと「リーチ」(見た人)と、「いいね」や「コメント」などアクションした人の比率が分かる。エンゲージメント率という。これまでの投稿を見て分析しよう。質の高い「いいね」を増やすことが大事だ。リーチした人にコツコツと「いいねしてください」とメッセージすることなどで、読者を増やす方法もある。

## サービスを使い分けよう。

### 写真を工夫、わかりやすい文章で。

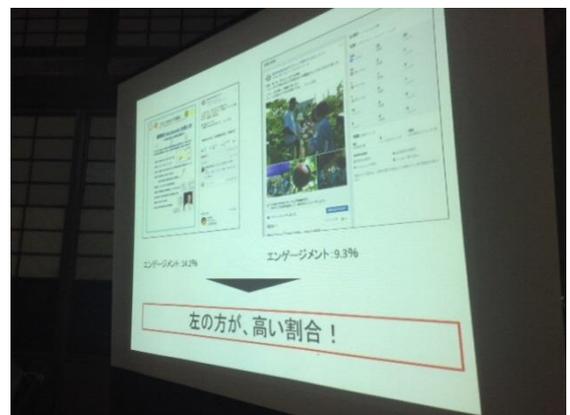
「インスタとの違いは？」・・・インスタグラムもFBも両方ともFBが提供するサービス。写真映えるものがインスタ。FBは文章を投稿してついでに写真という感じ。若い人または感度の高い人はインスタ、実際に現場で取材した内容を上げたり、中高年が好むのはFBという傾向もある。文章を書くのが苦手ならインスタを。インスタに使われるハッシュタグ(＃)は、内容の検索に便利、それだけでなくこのキーワードを使って落ちのある“大喜利”みたいな現象も起きている。

ツイッター、インスタ、FBと同じ内容をすべてに載せる人がいるが、目的を持って載せた方がいいと思う。それぞれに向き不向きがあるので使い分けた方がいい。「いいね」が増えない、「いいね」しなくては、など、だんだん苦痛になるようなやり方はやめよう。とにかく自分が楽しんで。

「イベントに人を集めるには？」・・・FBの記事はどんどん流れるので、イベントのお知らせなどは、投稿をトップに固定しよう。これは個人のFBでもできるはずだ。人を集めたいならまず企画の内容が大事だが、もともとのリーチ数も増やさないといけない。

また、いつも同じような記事・写真で代わり映えしないと見てもらえない。動画などを載せる方法も新鮮に映る。物よりも人の写真の方がはるかに目にとまるということもある。写真も正面からだけでなく、真剣に作業している人の横顔を撮るとか工夫しよう。いつもと違う人に写真を撮ってもらおうと、違う視点の写真となり新鮮さが出る。子どもに撮ってもらってもいいだろう。

FBでは文章の「もっとみる」の表示以降はなかなか開いてもらえない。改行は5回位に納め、伝えたいことを簡潔に書くといい場合もある。



## 情報は漏れる、悪い結果にもなる。

「個人情報に漏れないか？」・・・漏れるときは漏れる、100%漏れないという方法はないと思った方がいい。FB を始めるときに個人情報を打ち込むが、これは FB の大事なビッグデータでこれを使っていろいろな広告などを表示させる。SNS の収益源とはそういうものだった方がいい。

自分の FB が誰かに「乗っ取られる」こともある、パスワードを変えていくなどするしかないが、すでにシェアされている記事については、事情を話してその記事を消してもらえない。そういうことは起きるものだ。

また、載せた記事や写真が動かぬ証拠としてずっと残る、ということにも気を付けたい。食品衛生上問題のある写真が一枚でもあれば、大企業などではスキャンダルになる話だ。自分では写しているつもりもないことも、写ってしまっていることがある。注意しよう。

SNS では、友達だけに公開しているつもりでも、どんどん流れていくと思った方がいい。最後にトルストイの言葉を、

「人は自分の友に秘密を話すが、その人にもまた友がいるのだ」



■参加者からあらかじめ伺いたいことを集め、それにこたえていただく形をとりました。講師からはたくさんのお話をいただきました、また質疑応答もたくさんありましたがここでは内容を要約してあります。ご承知おきください。  
(文責：野口智子)